

平成20年11月5日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校
校長 下川 秀樹

平成20年度 11月号

富士見中 学校だより



北海道大雪山系から始まった紅葉も日本列島を南下し、季節は晩秋から初冬へと移り変わろうとしています。関東地方では、過日すでに木枯らし第1号が吹きましたが、皆様方にはお変わりなくお元気でお過ごしのことと思います。

さて、本校では11月3日の文化の日に文化祭、合唱コンクールを行いました。今年は、体育館の改修工事ということもあり、会場は本校校舎と市教育文化センターホールの2会場に分けて行いました。

今年の内容は、午前中は、9月末に山下公園や大栈橋、根岸森林公園で行いました写生会の作品の展示や日常の教科学習の発表、PTAの作品展示等でした。今、横浜145校ある中で写生会をやっているのは本校だけかも知れません。それだけこの行事が「芸術の秋」の象徴として根付いています。



午後は、教育文化センターでの合唱コンクールでした。各クラス発表の前のクラス紹介で、代表生徒が次のようなことを述べていたのが印象的でした。「私達のクラスでは、練習の取り組み段階でパートリーダーの言うことをきいてくれない、ソプラノ等の各パートの音がとれなくて困った、各パートの音がそろわない、大きな声を出してくれない、など様々な問題が出てきて放課後みんなで残って会議をやりました、みんなで何度も何度も練習をしました」など取り組みの苦勞の一端を紹介していました。



しかし、発表の段階になると、どのクラスもすばらしいハーモニーを奏で立派な発表ができたのには大変感動致しました。最優秀クラスには、3年1組が選ばれ、さすがに3年最上級生とうならせるものがありました。

他に印象的だったのが今年の1年生のトップバッターのレベルが高かったことです。これには感心致しました。また、2年生のレベルも例年以上に高くすばらしい合唱



みごと最優秀クラスに輝いた
3年1組の熱唱の様子

コンクールでした。

今年も南吉田小学校、石川小学校の児童の
皆さんがすばらしい歌声を発表してくれました。



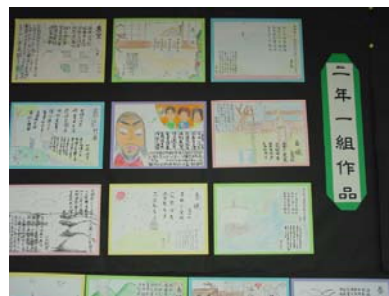
最優秀こそ逃したものの
すばらしいできだった
3年2組の発表の様子

石川小学校の児童の皆さんの歌声



南吉田小学校の児童の皆さんの歌声

吹奏楽部による演奏



P T A 作品

教科による発表



選択教科の発表作品

